

## 2025年度 競技者 注意事項 (43回県選手権大会・2025記録会)

参加者は、十分に熟読され、内容の把握に努めてください

1. 2025年度日本陸上競技連盟規則・日本マスターズ陸上競技連合競技規則、及び大会要領により実施する。
2. 招 集 ～ 競技に出場する手続きで、これを行わないと出場はできません。(棄権の扱いになります)
- 1) 招集時間(競技に出場する手続きの時刻を設定しています。各自の出場種目の招集時刻を必ず厳守してください。)

	招 集 開 始 時 刻	召 集 完 了 時 刻 (厳 守)
トラック種目	競技開始 30 分前から始める	競技開始 20 分前にはすませる
フィールド種目	競技開始 40 分前から始める	競技開始 30 分前にはすませる

- 注1) 招集所は、8時40分から開設します。  
 注2) 招集開始時刻前でも受付は可能です。  
 注3) 競技が遅れている場合でも、プログラム記載の招集時刻に変更はありません。

2種目以上に出場する人で、競技と他の種目の招集時刻と重なる場合は、最初の種目の受付を行う際に、2種目以降の受付も、併せて行うことができます。

- 2) 招集の場所(招集所)は、第4コーナーの100mスタート地点付近に設ける(表示看板「競技者招集所」を設置)招集所では、トラック競技は ① → ② → ③、フィールド競技は ① → ③の手続きをする。  
 (これを行わないと出場はできません)
- ① 出場種目のスタートリスト(招集所に提示する)に記載されている、自分のレーン番号(トラック種目)、試技順(フィールド種目)を、○囲みする。フィールド競技は、①の手続きのみでよい。
- ② トラック競技への出場者は、競技者係から「腰ナンバーカード(レーン番号)」を受け取り、競技の服装のパンツの右腰に貼り付ける。  
 なお、1500m以上の長距離種目は、主催者準備のアスリートビブス(胸部に付着)も併せて受け取り、競技の服装のシャツの胸部に貼り付ける。背部は、各自の登録番号のアスリートビブスを付着する。
- ③ 競技用シューズの計測を行います。詳細は別紙「競技用シューズ規定のおしらせ」で確認する。
- ④ 手続きを終えた競技者は、直ちに現地へ行く。  
 トラック競技は、出発係の点呼を受け、スタートを待つ。  
 フィールド競技は、フィールド審判員の点呼を受け、審判員の指示により、2回の公式練習を行う。

### 3. 競技用具

- 1) 競技用具は主催者が用意したものを使用する。  
 ただし、個人所有の投てき用具を使用する場合は、検定を受けて承認を得る。

競 技 会	第 42 回広島マスターズ選手権大会	2024 広島マスターズ陸上記録会
検定時刻	8 時 20 分から開始する	8 時 30 分から開始する
検定場所	競技場内の本部テント(検定審判員待機) 競技開始 60 分前には、各投てき用具の検定を終えておいてください	

- 2) ハードル走において、0.686mの高さは、本大会では0.700mのハードルを使用する。
- 3) 競技用シューズの靴底の厚さは、3000mW、FW2000m(40mm以内)を除き、厚さが20mm以上の場合は出場できません。競技終了後に違反が判明した場合は失格とする。
- 4) スパイクのピンは、次に示すとおりとする。

トラック種目	全天候用 9mm以内の平行ピン
フィールド種目	全天候用 9mm以内の平行ピン 走高跳とやり投げ 12mm以内の平行ピン

### 4. トラック競技

- 1) トラック競技は、タイムレースとする。同記録で着差なしの場合は生年月日の早いものを上位とする。
- 2) スタートは、イングリッシュコール(「On Your Marks」→「Set」→「号砲」)で行う。
- 3) 不正スタートは、1回目から該当の競技者を失格とする。

- 4) 県選手権大会では、レース前はスタブロ合わせのみとし、スタート練習は行わない。
- 5) ハードル競技の練習は、1回で3台まで行う。いずれも、出発係の指示を受けること。
- 6) 次の種目は、制限時間を超えて次の周に入ることはできない。

○県選手権大会	3000m-18分	5000m-30分	3000mW-28分
○記録会	3000m-18分	FW2000m-20分	

- 7) 60m~400mでは、フィニッシュ（ゴール）した後は、自分のレーンをカーブ（曲走路）に沿って減速する。

5. フィールド競技

- 1) 跳躍競技（走幅跳・三段跳・立五段跳）・投てき競技の試技数は4回（ただし記録会は3回）とする。
- 2) 三段跳・立五段跳の踏切は、5m, 7m, 9m, 11m（立五段跳のみ13m）とする。  
2回の公式練習後に、踏切位置を審判員に申告する。なお、競技中の踏切位置の変更はできない。
- 3) 立五段跳は、踏切線に両足を揃えて両足で踏み切り、片足で左右交互に跳躍し5歩目で着地をする。  
審判の開始合図の後、仕切り直しや踏切線に触れたり、その場ジャンプなど両足が動いた場合は無効試技とする。
- 4) 走高跳・棒高跳のバーの上げ下げは、審判員の指示で行う。

6. 競技場内では、審判員の指示による練習は可能であるが、競技中に各自が行う練習はできない。

7. 競技記録

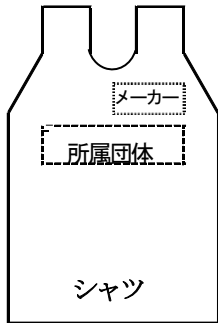
- 1) 各種目（各クラス毎）の記録は、年令クラスのマスターズ公認記録とする。
- 2) 追風2.0m/秒を超える記録は参考記録として扱い、公認記録にならない。
- 3) 走幅跳・三段跳の最高記録が追風参考の時は、次に良い公認記録と併せて日本マスターズ連合に提出する。
- 4) 県選手権大会に参加する県外登録競技者は、オープン参加とするが、記録は公認記録とする。

8. 競技者は胸背部に必ず各自の登録アスリートビブスを付着する。

- 1) ただし跳躍競技は胸背部のどちらか1か所での付着が、円滑な競技運営上好ましい。
- 2) 1500m以上の種目は、胸部に主催者準備のアスリートビブスを、背部に登録アスリートビブスを付着する。

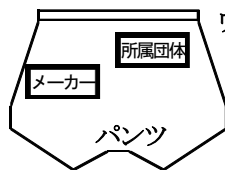
9. 競技場内での競技用の服装 [シャツ (ベスト)・パンツ (レオタード)] のロゴマークの規定

- 1) 所属団体名と製造会社名（メーカー）のロゴマークは、次のア）、イ）、ウ）とする。



ア) メーカー名は、上下一つずつ（場所は問わない）で、マークは同一のものとする。  
大きさは、40cm<sup>2</sup>、高さ5cmとする。概ね、名刺大の大きさとする。

イ) パンツとスパッツの重ね着は、メーカーのロゴマークは、どちらか一つにする。  
(両方にロゴマークが入ってはいけない)

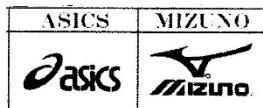
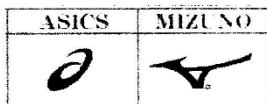


ウ) 所属団体名は、上着は胸背部に一つずつ、下衣は一つのみとする。  
高さは、上衣の背部は4cm、他は5cmとし、長さは不問とする。  
ただし既存の「広島マスターズ」の団体名入りシャツは、可とする。

- 2) シャツ・パンツのメーカー名のロゴは、文字の入ったものは不可とする（サンプル提示）

○（使用できる）

×（使用できない）



- 3) 競技場内に持ち込むバッグのメーカー名は、ロゴマークのみ（文字は入ってはいけない）

10. 競技中に健康上の問題が生じた場合は、直ちに医務員（総合案内所又は医務室）に連絡し処置を受ける。

※スポーツ傷害保険の円滑な手続きに向け、大会終了後の申告は受け付けません。

11. 駐車場は、園内指定の駐車場を利用する。（駐車違反やトラブル等起こさないようにご協力下さい）